昇華
きとうよしお

ほんとに
あるのかなあ
とにかく
行って見る
ことよ
ねえ
この辺に
船を出してる
ところない？
船？
そう
どこへ
行くんだね
向うには
理想郷があるって
聞いたんです
ええ

見て来た者でもいるのかね

行った人は多勢いるわ
戻った者はないんだな

じゃあわからんだろうが
あるわ!!

ほう…どうして
そんな気がするもの…

それだけで危険な旅をするのかね
十分よそんな気がするってことは……
あるんだわ

理想郷か……
……
あんたら　今
不幸なのかい

そんなこと
ないわ
……ただ
見てみたい
だけよ

今のままで
不満が
ないのなら
行く必要も
ないだろ

誰も戻らない
ような所へ…
どんな恐しい
ことが待って
いるか
わからないだろ

恐しい…
かもしれない
星良
…よそうよ

何よ
今さら!!
僕は今のまま
君といられれば
それで十分
幸福だもの

こわいなら
帰ったら!!
あなたは
知ってるのでしょ
ここにだって
何人も
そういう人達が
来たでしょ

一人だって
行くわよ!!
君が行くなら
僕だって
一緒に行くさ
……けど

理想郷なんて
ないんでしょ
あるさ

え

あるって

来るがいい

どんな
ところなの

どのくらい
かかるの
自分で
確めるんだな

行ったんでしょ
ふふ…

これ

さあ

私たちだけ？
必要なものはそろっている
乗組員の人とか……
ええ
ふふ…一つだけ教えておこう
出口はそこだ一度外へ出たらもう船には戻れないから…
じゃあなたどり着けることを祈ってるぞ…ふっふふ

開かないよ
出口は
向うだって
言ってたでしょ

でも…
信用なさいよ
…今さら
……

ん

ほら
動き出した

いよいよね

さぁ
いつ着けるかは
わからないけど
おいしい食べ物に
快適なベット…
のんびりできそう
じゃない

う…うん
す～

ほんとだ
……
なんて気持
いいんだろ…

星良!!
龍!?
ほら向うにも

どんどん集まってくる
かなりの数みたいだ
私たちを狙ってるわけ？
そんなに多くちゃけんかになるわね

そうなってほしいさ…

襲ってこないところを見るとこの船には見おぼえがあるんじゃない

以前　すごい武器にでもやられてひどい目にあったとかさ…

この船にかい？……だといいけど……

心配したってどうにもならないわよ

だいたい私はここで死ぬなんてこれっぽっちも感じちゃないもの
だから安心していられるわ
そんなもんかな

誰だって感じてるはずなのよ
要はそれをどこまで信じられるかってこと
信じてやったことに裏切りはないわ
とにかく襲ってはこないみたいじゃない……

どうしたの

何か…
何？

何かが……

何よ
ほら

見たろ
ただの光よ

近づいてくる……

感じる…

消えたわ
行こう

え

出よう
何ですって

ここなんだ

衣紗夜!!
さあ

君も見たろ
僕らを
呼んでいた

そういう風にも
見えたわ…
……
…でも
…だからって
……

きっと
今しかない

……
ここが
……

ここが
私たちの求めていた
理想郷だって
言うの!?

君だって
そう感じたろ

一度外に出たら
戻れないのよ…
君らしくもない

…でも
こんな所が
感じたことを
疑うのかい

もっと慎重に
確めないと…
こわいのかい
……でも
そんな時間
あるのかな

こんなにも
簡単にこれる
ものなのか…
問題は
決断だろ

僕は行くよ
あなた
私といるのが
幸福だって
言ったじゃない!!
衣紗夜

衣紗夜!!

衣紗…

ああっ

君だけ？

あなた達は？
どうして水の中で
話が…
はは…
そういう
あなただって
……
出たのは
君だけ？

え…ええ
じゃあ
僕らを呼んだのは
……
いや
先に行った
仲間さ

先に行った…
……
仲間って…

君と同じ
あの船でやってきた
同じ…
…船って…

乗って来たろ
あ

いろんな所から来てるわ
外へ出たのはほんの数人さ

出なかったらどうなるんだろ

さあ…でもあの中で一生を送ったってそれもまた幸福なんじゃないかい

あそこだって
なにも不自由は
ないんだから
……
でも僕らが
これから知る
ほんとうの幸福を
一度でも感じて
しまったら
あそこでは
とても満足できゃ
しないさ…
来たわ

僕もだ…

あ

自分の存在が
わかるかい

どんどん
広がっていく
さあ
飛び出すよ

あーっ

さあ
もうすぐ
はじける

もう一度
星良に
呼びかけたい

気づいたの
さあ

問題は
決断さ…
終